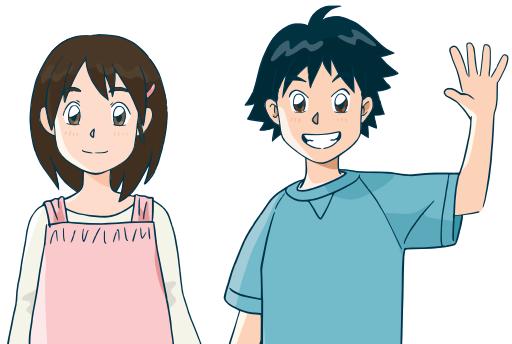


編修の基本方針

今後、期待される社会の姿(Society 5.0)の実現に向けて、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、膨大な情報を見極めながら複雑な状況変化の中で、目的に応じて考えを再構築したりするなど、持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培う観点から、以下の3点を基本方針として位置づけました。



A 生徒が主体的に関わりながら学びを進める

- (1) Unitの最初に全体の目標を、PartにはそのPartの目標を明示することで、生徒にも学習到達目標がはつきりわかり、何ができるようになるかを意識しながら、主体的に学習を進めることができるようとする。
- (2) ペアワークやグループワークなどを通して、主体的・対話的な学習が進められるようとする。

B コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける

- (1) Unitを構成するPartには、取り扱う語彙や表現などを明示し、身に付けるべき基礎的な学習内容が一目でわかるようにする。
- (2) 言語材料への慣れ親しみ、知識・技能の習熟、活用・定着という学習過程を踏みながら基礎的な資質・能力を身に付けられるよう紙面構成を工夫する。

C 知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を育成する

- (1) 生徒の知的好奇心に応える題材を多く扱い、生徒の思考力・判断力・表現力を養えるようにする。
- (2) コミュニケーションの目的・状況・場面を意識して4技能5領域を活用し、生徒自身が課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断し、行動する力を養えるようにする。

A

生徒が主体的に関わりながら 学びを進める

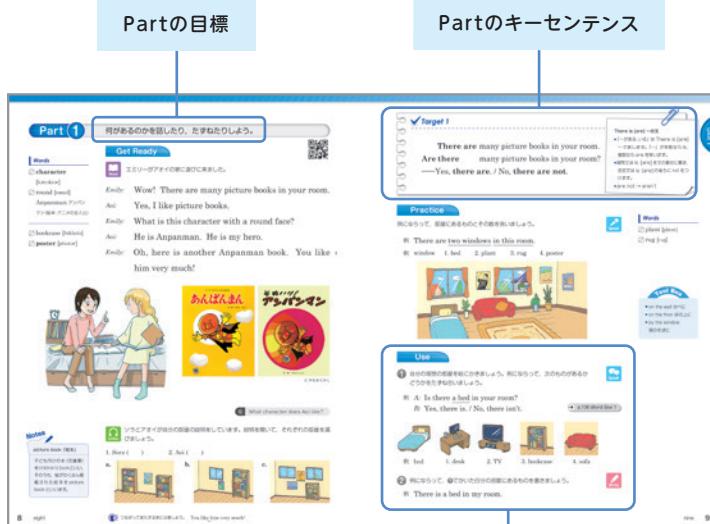
- 学習の進めやすさを考慮して、各Partは見開きで構成しています。
- UnitとPartの最初には学習到達目標(Unit全体の目標、Partの目標)を明示し、生徒自身が何ができるようになるかを意識しながら、自律的に学習を進められるようにしました。
- 各Partで重要なキーセンテンスをTargetとして示し、身に付ける言語材料を明確にしました。
- ペアワークやグループワークなどを通して、主体的・対話的な学習が進められるようにしました。

Partの目標



(2年 Unit 1 / P.7)

Partのキーセンテンス



(2年 Unit 1 / P.8-9)

Unit全体の目標

**ペアワーク、グループワーク
などで、自分のことを表現する**

B

コミュニケーションを図るための 基礎的な資質・能力を身に付ける

- 各PartはGet Ready、Practice、Useで構成され、言語材料への慣れ親しみ、知識・技能の習熟、活用・定着という細かい学習過程を踏んで、基礎的な知識・技能が身に付くよう配慮しました。
- 新出語句を側注にWordsとして示し、学習の参考にできるようにしました。特に、中学校までに身に付けておきたいCEFR-JのA1レベルの語彙は太字で示しました。

新出語句



(2年 Unit 1 / P.10-11)

絵を使って練習することにより、知識・技能の習熟を図ります。

英文や音声に親します。

自分のことを表現することにより、知識・技能の活用・定着を図ります。

- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の4技能5領域を示すマーク( )を問題の横に示し、身に付けるべき技能を意識しながら学習を進められるようにしました。
- 新出語句や題材に関する付加情報などを紹介するコラムをNotesとして適宜設定し、さらに発展した学びへの興味づけができるようにしました。
- ICTの活用が有効な箇所にはQRコードを掲載し、学習の助けになる教材(音声など)を活用しながら臨場感を持って学習が進められるようにしました。
- 音読のポイントをページ下欄に掲載し、話すときはもちろん、聞き取るときの参考にもなるように配慮しました。
- 表現活動の際に必要となる語彙をTool Boxにまとめ、生徒が自分の言葉で表現する際の手助けとなるようにしました。
- 生徒に馴染みのある題材を取り上げ、生徒が親しみを持って、基礎的・基本的な語彙や表現を身に付けられるよう工夫しました。



- More Informationでは、Unitで学んだ内容の補足情報を読み、理解を深めることができます。(2・3年)
- Targetのまとめでは、各PartのTargetで学んだ新出文法をふりかえることができます。

▼ More Information



(2年 Unit 6 / P.83)

▼ Targetのまとめ



(1年 / P.35)

知識・技能を活用して、
思考力・判断力・表現力を育成する

- 様々な場面に応じて生徒の思考力・判断力・表現力を養える活動を設定しました。
 - 各UnitのRead&Thinkでは、長めの英文を読み、内容を大まかにつかんだり、詳しく理解したりする力を養えるようにしました。(1年 Unit 9以降)
 - Let's Talkでは、身近な場面の中で必要な情報を伝え合うなどの実践的なコミュニケーション能力を養えるようにしました。
 - Let's Listenでは、身近な場面から必要な情報を聞き取り、適切に活用できる力を養えるようにしました。
 - Let's Readでは、長めの読み物を読み、内容について生徒が考えられるようにしました。

▼ Let's Talk

(1年 / P.34)

▼ Let's Listen

(1年 / P.51)

▼ Let's Read

(1年 / P.118-119)

- 各UnitのExpress Yourselfでは、Unitのテーマに沿った短い文章をつくり、発表することを通して、思考力・判断力・表現力を養えるようにしました。
 - 学期末のProjectでは、複数のUnitで学んだことを生かし、4技能5領域を統合的に活用することを通して、思考力・判断力・表現力を養えるようにしました。

▼ Express Yourself

(2年 Unit 1 / P.16)

▼ Project

(2年 / P.46-47)